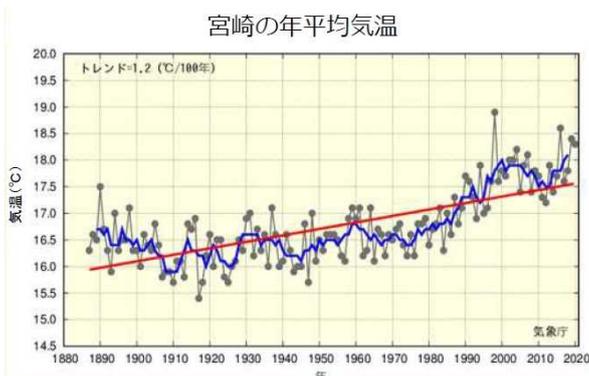


## 宮崎県気候変動適応センター通信 第34号

福岡管区气象台・宮崎地方气象台では、「日本の気候変動2020」(文部科学省・気象庁)に基づいて、地域の観測・予測情報リーフレットにまとめ、ホームページで公表しています。

今回はリーフレットの一部をご紹介します。

### 宮崎の年平均気温は100年あたり1.2℃上昇！



黒の細線：年平均気温  
青の太線：気温の5年移動平均  
赤の直線：この期間の長期変化傾向  
\* 地球温暖化に加え都市化や自然変動も含む

<出典> 宮崎地方气象台・福岡管区气象台「宮崎県の気候変動」

- ・延岡、都城の真夏日、熱帯夜の年間日数は増え、冬日の年間日数は減っています。都城の猛暑日の年間日数は増えています。
- ・気温が上昇したことで、宮崎では、春の現象であるさくらの開花日は時期が早まり、秋の減少であるかえでの紅葉日は遅くなる傾向にあります。

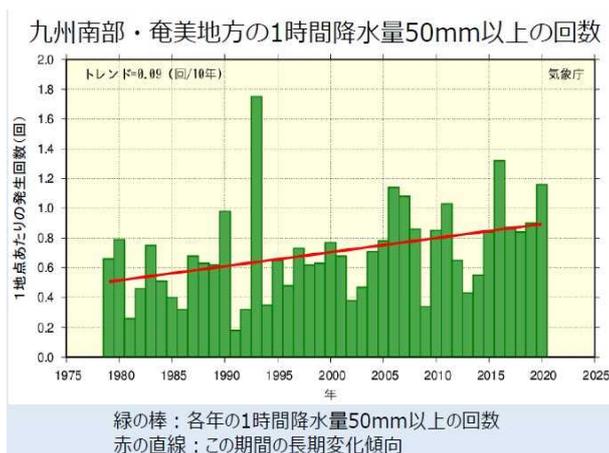
<引用> 福岡管区气象台「九州・山口県の気候変動監視レポート2020」

宮崎県の気温は上昇を続けており、将来はさらなる上昇が予想されています。(1850-1900年と比較した21世紀末時点のシナリオ)

2℃上昇シナリオ	4℃上昇シナリオ
宮崎県の年平均気温は <b>1.3℃</b> 上昇	宮崎県の年平均気温は <b>4.0℃</b> 上昇

- ・2℃上昇シナリオ…パリ協定の2℃目標が達成された21世紀末の場合
- ・4℃上昇シナリオ…追加的な緩和策を取らなかった21世紀末の場合

### 気温の上昇で大雨が増加！



緑の棒：各年の1時間降水量50mm以上の回数  
赤の直線：この期間の長期変化傾向

<出典> 宮崎地方气象台・福岡管区气象台「宮崎の気候変動」

気温の上昇により、大気中に含むことのできる水蒸気の量が増えることから、大雨も増加しています。

雨の降らない日も増加し、雨の降り方が極端になり災害のリスクが高まると考えられています。

平成30年7月豪雨には気候変動の影響があったと評価されています。

また、宮崎県を含む九州南部・奄美地方の短時間強雨の回数は **40年間で約1.6倍**に増加しています。

このまま地球温暖化が続くと、さらに影響が大きくなります。現在だけではなく孫やひ孫の世代まで影響を低く抑えられるよう、今から、地球温暖化対策に取り組む必要があります。

◎「宮崎の気候変動」はこちらから

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/chikyuu/report/leaflet/miyazaki.pdf>

### 宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin.pref.miyazaki.lg.jp